

令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 定2

千葉県立千葉工業高等学校 定時制の課程 工業科

1 期待する生徒像

次の全てを満たす生徒

ア 本校の教育目標や校訓を理解し、志願する動機及び理由が明確であること。

イ 工業科（機械コース・電気コース）の学習に興味や関心を持ち、学習活動・特別活動などの高校生活に、意欲的に取り組み、学習に適応できること。

ウ 勤労意欲を持ち、在学中の就労と学校生活を両立できること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者3名の個人面接 検査時間：15分程度
(4) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。 5教科の得点合計が50点未満の場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 アの数値を調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。
イ 総合的な学習の時間の記録	顕著な記録について総合的に判定する際の参考とする。
ウ 出欠の記録	中学校3年間の欠席日数の合計が100日以上ある場合は、審議の対象とする。
エ 行動の記録、特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項、総合所見	顕著な記録について総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接〔360点満点〕

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（特に優れている）・b（優れている）・c（標準的である）・d（やや問題がある）・e（問題がある）の5段階で評価する。3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aaa～eee）で得点化する。eを含む評価の組合せが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明白かつ適切である。
イ 学校生活への意欲	高校生活について、意欲を持って取り組もうとする姿勢が見られる。
ウ 就労への意欲	就労について、意欲を持って取り組もうとする姿勢が見られる。
エ 態度	礼儀作法や身だしなみ、質問に明確に回答するなど、面接検査にふさわしい態度で臨んでいる。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
ア 志願理由	本校を志願する理由を確認し、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	特に優れた内容等を確認し、総合的に判定する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の成績	調査書の得点	第2日の検査の得点	総得点
	評定(算式1)	面接	
500点	(135 + α - m) 点	360点	(995 + α - m) 点

(算式1) α : 県が定める評定合計の標準値95
m : 中学校評定合計平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。